



イソップのおはなし

マクリントック再話・絵 福本友美子 訳 いわなみしよてん 岩波書店

「ようこそおこしくできました。こよいみなさまに
お目^めにかけますのは、イソップのおはなしのかずかずで
ございます。」

劇場^{げきじょう}の幕^{まく}があくと、一列^{いちれつ}にならんだ動物^{どうぶつ}たちがごあいさ
つ。キツネ、ツル、カラス、ヒツジにオオカミ、ネズミた
ち。これから、イソップのおはなし
のおしばい^{おしばい}が始まる^{はじまる}のです。

「キツネとツル」「町^{まち}のネズミと
いなかのネズミ」など、九^{いっしゅう}つのおは
なしが、まるで目^めの前^{まえ}で演^{えん}じられて
いるかのように楽しめる絵本^{えほん}です。

